



校長室 だより
 尼崎市立常陽中学校 No.15

平成28年 2月 2日
 校長 小谷 豪郎

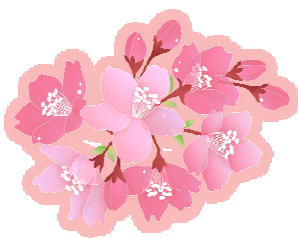
暦の上ではもうすぐ春です！

もうすぐ春です、このフレーズを聴く私の頭の中にキャンディーズの『春一番』の歌詞がすぐに流れてきます。

『雪が解けて川になって流れて行きます、つくしの子が恥ずかしそうに顔を出します、もうすぐ春ですなあ、ちょっと気どってみませんか・・・♪』

お父さん、お母さんの年代はご存じでしょう。私が高校～大学のころ大人気のアイドルグループでした。まあとにかく、暖かい春がもうそこまできてきているということです。

冬場に、寒ければ寒いほどその期間を堅いつぼみでじっと我慢した桜は、暖かい春には素晴らしい花を咲かせるそうです。3年生の皆さん、今年の冬は好きなことも我慢し、自分自身と向き合い、目標に向かって頑張ってきたことでしょう。寒い冬を乗り越えた桜の花のようにきっと素晴らしい結果が待っていると信じています。



2月3日は『節分』ですね、これは暦の上で冬と春の季節が入れ替わる分かれ目、ということで節目で分ける、ということから「節分」と言われるようになりました。ですから4日の「立春」は春が始まる最初の日なので、その前日が『節分』ということになります。



皆さんは「節分」にご家庭で豆まきをしますか？

私の家では、子どものころ父が絶対的な立場で様々な行事ごとは、必ず父が主役で仕事から帰って来てから始まります。豆まきのときも、「鬼は外、福は内」と父が、玄関や各部屋を回りながら豆をまいていきます。姉と私は、父の後をついて回り、父がまいた豆を一生懸命集めて食べていたのを思い出します。

そして、2～3日すると、拾い残した豆が家の中で踏まれて、つぶれているということがよくありました。年の数だけ食べると厄払いになるとか言いますが・・・この年になると年の数なんて、そんなに沢山食べられません。

そんな家庭で育った私の家では、3人の子ども達が小さかったころ豆まきをする時には、小さな袋入りの豆をまくようにしていました。拾い残しても良く目立つように、それによく考えるとこの方が衛生的ですよ。

最近では、「恵方巻き」といって、巻き寿司をその年の恵方に向かって丸かじりする、という習慣が広まっているようです。これは古くは江戸時代の大坂の商人たちが、商売繁盛を願い、七福にならい七つの具を巻いた太巻きを食べたことから始まっているらしいです。

ちなみに今年の恵方は「南南東」らしいです。食べ過ぎには注意！



様々な場面で頑張る常陽中

- ① 生徒会保健委員会
 1月の第58回尼崎市学校保健大会において、生徒の健康増進や健康管理など本校の生徒会保健委員会の日頃の取組や活動について、優秀と認められ尼崎市学校保健課委から表彰を受けました。
 これからも健康増進・健康管理に学校全体で取り組んでいきましょう。
- ② 平成27年度体力アップスクール
 生徒の健康の保持増進や体力の向上を図るため、学校教育活動における体育・スポーツ活動の積極的且つ特色ある優れた実践を行っているとして認められ、兵庫県教育委員会から表彰を受けました。
 これを機会に、体育の授業や部活動にさらに積極的に取り組んでいきましょう。
- ③ 第20回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト予選・関西大会
 全日本の第一次予選となる東兵庫のソロコンテストにおいて、安岡奈央さんが、チューバで1位。鈴木窓司くんが、マリンバで5位になりそれぞれ関西大会出場となりました。全日本を目指してさらに練習に励んでいます。

本格的入試シーズンに突入！

2月1日現在で、卒業式まで残り40日、いよいよ中学生も最後になってきました。3年生の皆さん、辛いこと・苦しいことから逃げようとする、『心の鬼は外！夢と希望の福は内！』既に進路を決定した生徒が数人います。一大決心で親元を離れ一人で寮生活を始める人、学校ではなく一足早く社会へ出る人もいます。それぞれの夢に向かってラストスパートです。

次は、2月10日からの私立高校です、その次が、14日の公立の推薦入試と特色選抜と多部制の受検になります。順次決まってくる人達が出てきますが、最終の公立一般入試、3月12日まで続きます。自分の行き先が決まっても、周囲の友達で入試を控えている人達がたくさんいます。決して浮かれることなく心を一つにして素晴らしい春を迎えましょう。感動的な卒業式を期待しています。

《今月の言葉》

『 迷わず自分を信じる力 』

ギリギリの戦いが続く中で、最後にものをいうのは、迷わない力、自分を信じる力である。

みんなの期待に応えるだけ、という信念の強さが最後にものをいう。